

300年以上にわたって 盛岡のまちを見守り続ける

お八幡さん
市民は親しみを込めてそう呼びます
『盛岡鎮守』の碑は
山屋他人による書



延宝8年（1680年）、第29代南部重信公により建立された盛岡八幡宮。

昔から多くの人たちの信仰の対象として崇拝され、今でも「お八幡さん」と呼ばれ親しまれています。

「お八幡さん」のシンボルが『盛岡鎮守』の碑。盛岡八幡宮表参道大鳥居の側に建っているこの碑の書は、皇太子妃雅子さまの曾祖父にあたる海軍大将・山屋他人によるものです。四季折々、祭事が行なわれている八幡宮ですが、9月に行なわれる例大祭と並び多くの市民が訪れるのがこの1月。

年の初めの祭事は初詣に始まり、15日に行われる裸参り、どんと祭と続きます。

1年で一番境内が賑わう初詣は3日間で20万人を超える人々が参拝に訪れます。

